

海外短信



～ 中国 ～

水郷の街 蘇州

～ 中央可鍛工業(株) ～

～古き良き遺産を引継ぎながら急速に発展する街～
(蘇州中央可鍛有限公司、顧問 八藤後和喜男様からの寄稿)



【周庄の河を手こぎ舟で観光】

蘇州は上海浦東飛行場から西に車で2時間程の所に位置しており、市の概要を見ると古くは約2,500年前に呉の国の都として歴史に名を残し、特産の蘇州シルク・水郷の街・庭園の街として紹介されている。

この街に住むのは近年、市外から流入した常住人口を入れると1,200万人とも言われ、高速鉄道は勿論のこと道路網も整備され、市内での車の登録台数が日当たり300から400台は有るとの事。

地下鉄1号線もこの4月に開通し、沿線には日本の商業施設1店舗が開業しており、現在大型店舗も建設中と日系企業の進出が多く、我らが住む高新区でも日本人駐在員の方を大勢見かける様になった。

一方、観光面では北京迄通じると言われる運河が有り、荷物を満載にした連船が見かけられ、始めてみた時は繋がれた船の長さに驚いたものである。また、市内にも縦横に河が走り、遊覧船で柳の木を通り抜けながら白壁の古い民家や河沿いに暮らす人々の生活を垣間見る事ができる。夏の夜にはそれらがライトアップされた幻想的な景色を船上から見られる。

さらに、ユネスコの世界遺産に登録された拙政園・留園・獅子林等、日本から大勢の観光客が訪れ四季折々の変化を楽しめる9名園が有る。他にもピサの斜塔に例えられる虎丘と日本でもお馴染みの寒山寺がある。

寒山寺では大晦日に花火を見ながら除夜の鐘を聞き新年を迎える事ができる。ちなみに“寒山寺の鐘を付くと若返る”と言われている。真偽の程は一度試されては如何だろうか。

古き良き遺産を引継ぎながら急速に発展する蘇州である。



【見応えのある虎丘の斜塔を背景に】



【無錫太湖の畔にて】